学校番号	3015

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「美術Ⅰ」　（光村出版）						
副教材等	自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

それぞれの課題でチャレンジするポイントを絞り込み、個人の思いを表現に繋げやすくし、美術を身近なものにする。

２　学習の到達目標

美術についての基礎知識を理解し、また造形活動を通じ一人一人の生徒がより主体的に自己表現が可能となることを目指す。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	作品表現をするにあたってより意欲的にベストを目指すように努力する。	与えられた課題をもとにより自由に自己表現をする。	デザインガッシュ（水彩絵の具）の基本的な使い方をマスターする。その他の画材教材を使いこなせるようにする。	教科書や学内の展示で他の人の作品に触れ違う視点、技術の発見をする。
評価方法	観察	観察 提出作品	観察 提出作品	観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	レタリング	オリエンテーション 用具の配布記名 デザイン課題「スケッチブックの表紙」 デザインガッシュの基本的な使い方の練習をする。 自分の氏名を元にデザイン化しスケッチブックの表紙に描きデザインガッシュで彩色する。	○	○	○		a：レタリングに興味を持ち意欲的にとりくめている。 b：漢字をもとにデザインをして、より自分らしさを表現できている。 c：デザインガッシュの基礎的な使い方が習得できている。 d：	観察 提出作品
2学期	風景画の制作	「風景画」の制作 海外旅行をテーマに行ってみたい国　場所を決める。 資料を集めなるべくリアルにPRできるような風景画を描く。	○	○	○		a：その場所のよさや魅力を伝えようと努力をしている。 b：独創性のある構図、表現になっている。 c：デザインガッシュの使い方の基本を踏まえ、より発展的な使い方ができている。レタリングがわかりやすく美しくかかれている。 d：	観察 提出作品
3学期	立体アニメーション	立体課題「立体アニメーション」 スチレンボードを使って連続して変化する形を組み合わせ立体作品を制作する。	○	○	○		a：立体作品にすることを理解し意欲を持って取り組んでいる b：独創的なイメージが表現できている。組み立てて立体にしたときの形を予測し、あらゆる方向に形の変化がつけられている。 c：全方向から見られることを考え、丁寧に彩色されている。 d：	観察 提出作品
3学期	風景画鑑賞	アートフェスティバルの期間中に同学年の作品を鑑賞。レポートにまとめる。	○			○	a：他の人の作品を興味をもってしっかりと鑑賞する。 b： c： d：他の人のテクニックや表現方法を発見する。	観察 レポート提出

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。